

日本代表女子 第16回女子アジア選手権 (韓国 水原)

2017年3月14日 ~ 3月22日

試合結果報告 3月14日 (火)

JPN	VS	香港
17	前半	5
20	後半	2
37	合計	7

個人得点

名前	前半	後半	合計
飛田季実子			0
寺田 三友紀			0
亀谷 さくら			0
永田 しおり	1		1
塩田 沙代		4	4
田邊 夕貴	3	1	4
河田 知美	4	3	7
横嶋 彩			0
池原 綾香	1	2	3
原 希美			0
角南 唯	2	2	4
川村 杏奈	2	1	3
大山真奈	1	2	3
角南 果帆	1	1	2
永田 美香	2		2
藤田 明日香		4	4
	17	20	37

戦評

ウルリック監督で挑むアジア選手権初戦。香港のスローオフで試合開始。日本はアグレッシブさを武器としたディフェンスで相手の攻撃にストップをかけてゆく。前半2分河田選手が得点し日本が先制する。その後香港のポストシュートで失点するが角南唯、河田、池原、角南果帆選手のスピードある突破で6対1とする。香港のタイムアウト後、DFのシステムを変化させても日本の勢いが止まらず、速攻が成功し17対5で前半を終えた。

後半今期より代表入りしたGK寺田のビックセーブと巧みなパスがさらにおりひめジャパンの速攻を加速してゆく。角南唯、横嶋、河田選手陣のアシストからシュートが成功し、一気に18点差と引き離す。香港も2度目のタイムアウトを取りリズムを取り戻そうとするが、日本は塩田、河田両選手のカットインから攻撃の展開をさらに追い討ちをかける。川村選手の得点と好アシストから藤田選手が2得点を重ね37対7で終了した。MVP選手には角南唯選手が表彰された。

報告記入者 :

北野 香代